



弘道館全景(茨城県水戸市)



咸宜園 秋風庵(大分県日田市)

平成  
27年度  
認定平成  
28年度  
認定平成  
29年度  
認定平成  
30年度  
認定令和  
元年度  
認定

分類：シリアル／認定ストーリー 1

## ■タイトル

近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—

■所在自治体 水戸市(茨城県)・足利市(栃木県)・備前市(岡山県)・  
日田市(大分県)

## ■ストーリーの概要

我が国では、近代教育制度の導入前から、支配者層である武士のみならず、多くの庶民も読み書き・算術ができ、礼儀正しさを身に付けるなど、高い教育水準を示した。これは、藩校や郷学、私塾など、様々な階層を対象とした学校の普及による影響が大きく、明治維新以降のいち早い近代化の原動力となり、現代においても、学問・教育に力を入れ、礼節を重んじる日本人の国民性として受け継がれている。

## ■主な構成文化財

【国】旧弘道館・偕楽園(茨城県水戸市)  
【国】足利学校跡(栃木県足利市)  
【国】旧閑谷学校(岡山県備前市)  
【国】咸宜園跡・豆田町重要伝統的建造物群保存地区(大分県日田市)

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓

## ■問い合わせ先

教育遺産世界遺産登録推進協議会  
茨城県水戸市中央1-4-1  
TEL:029-306-8132 FAX: 029-297-6187  
E-mail : isan@city.mitoglg.jp

【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

分類：シリアル／認定ストーリー 2

■タイトル  
かかあ天下—ぐんまの絹物語—

■所在自治体 群馬県(桐生市、甘楽町、中之条町、片品村)

## ■ストーリーの概要

古くから絹産業の盛んな上州では、女性が養蚕・製糸・織物で家計を支え、近代になると、製糸工女や織手としてますます女性が活躍した。夫(男)たちは、おれの「かかあは天下一」と呼び、これが「かかあ天下」として上州名物になるとともに、現代では内外に活躍する女性像の代名詞ともなっている。

「かかあ」たちの夢や情熱が詰まった養蚕の家々や織物の工場を訪ねることで、日本経済を、まさに天下を支えた日本の女性たちの姿が見えてくる。

## ■主な構成文化財

【国】織物参考館“紫”(桐生市)  
◆ 旧小幡組レンガ造り倉庫(甘楽町)  
【国】中之条町六合赤岩伝統的建造物群保存地区(中之条町)  
【国】富沢家住宅(中之条町)  
◆ 永井流養蚕伝習所実習棟(片品村)



座縫り製糸



織物参考館“紫”

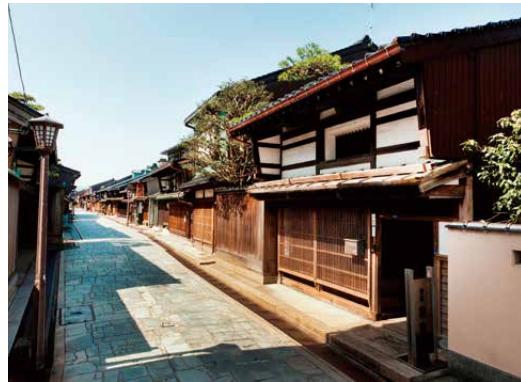
構成文化財など  
詳しくはこちら ↓

## ■問い合わせ先

かかあ天下ぐんまの絹物語協議会  
群馬県前橋市大手町1-1-1  
TEL:027-226-2326 FAX:027-224-2812  
E-mail: sekaiisan@pref.gunmalg.jp

【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

平成  
27年度  
認定



金屋町伝統的建造物群保存地区



高岡御車山祭の御車山行事

分類：地域／認定ストーリー 3

■タイトル

加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡－人、技、心－

■所在自治体 高岡市

■ストーリーの概要

高岡は商工業で発展し、町民によって文化が興り受け継がれてきた都市である。高岡城が廃城となり、繁栄が危ぶまれたところで加賀藩は商工本位の町への転換政策を実施し、浮足立つ町民に活を入れた。鋳物や漆工などの独自生産力を高める一方、穀倉地帯を控え、米などの物資を運ぶ良港を持ち、米や綿、肥料などの取引拠点として高岡は「加賀藩の台所」と呼ばれる程の隆盛を極める。

町民は、固有の祭礼など、地域にその富を還元し、町民自身が担う文化を形成した。純然たる町民の町として発展し続け、現在でも町割り、街道筋、町並み、生業や伝統行事などに、高岡町民の歩みが色濃く残されている。

■主な構成文化財

【国】瑞龍寺

【国】前田利長墓所

【国】高岡城跡

【国】高岡御車山祭の御車山行事

構成文化財など  
詳しくはこちら



■問い合わせ先

高岡市日本遺産推進協議会

富山県高岡市広小路7番50号

TEL: 0766-20-1255 FAX: 0766-30-7299

E-mail:bunsou@city.takaoka.lg.jp

【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

■タイトル

分類：シリアル／認定ストーリー 4

灯り舞う半島 能登～熱狂のキリコ祭り～

■所在自治体 石川県（七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町）

■ストーリーの概要

日本海文化の交流拠点である能登半島は独自の文化を育み、数多くの祭礼が行われてきた。その白眉はキリコ祭りと総称される灯籠神事。夏、約200地区で行われ、能登を照らし出す。日本の原風景である素朴な農漁村で神輿とともに、最大で2トン、高さ15mのキリコを担ぎ上げ、激しく練り回る。祇園信仰や夏越しの神事から発生した祭礼が、地区同士でその威勢を競い合う中で独特な発展をし、そしてこれほどまでに灯籠神事が集積をした地域は唯一無二。夏、能登を旅すればキリコ祭りに必ず巡り会えると言っても過言ではなく、それは神々に巡り会う旅ともなる。

■主な構成文化財

◆ 石崎奉燈祭（七尾市）

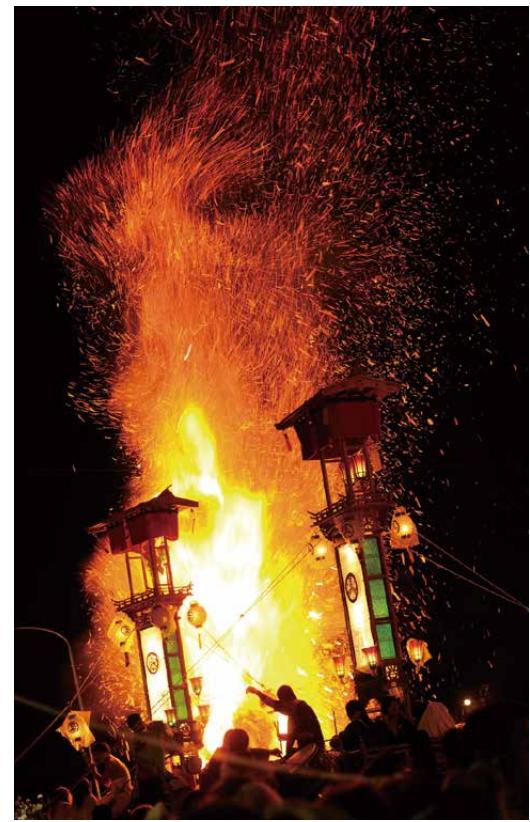
◆ 輪島大祭（輪島市）

◆ 宝立七夕キリコ祭り（珠洲市）

◆ 西海祭り（志賀町）

◆ 沖波の大漁祭り（穴水町）

◆ あばれ祭（能登町）



あばれ祭（穴水町のキリコ祭り）©石川県観光連盟

■問い合わせ先

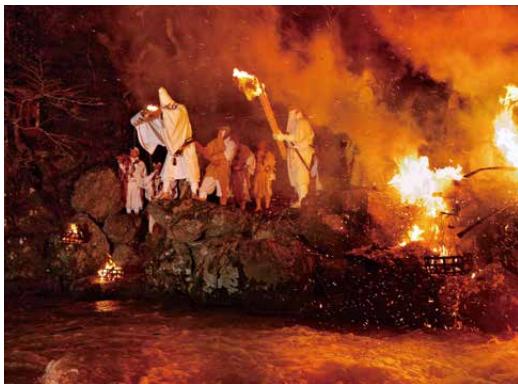
日本遺産「灯り舞う半島 能登～熱狂のキリコ祭り～」活性化協議会  
石川県金沢市鞍月1-1

TEL: 076-225-1844 FAX: 076-225-1843

E-mail : bunkazai@pref.ishikawa.lg.jp



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



お水送り(小浜市)



熊川宿(若狭町)

分類：シリアル／認定ストーリー 5

#### ■タイトル

海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群  
～御食国（みけつくに）若狭と鯖街道～

#### ■所在自治体 福井県（小浜市、若狭町）

#### ■ストーリーの概要

若狭は、古代から「御食国」として塩や海産物など豊富な食材を都に運び、都の食文化を支えてきた地である。また、大陸からつながる海の道と都へつながる陸の道が結節する最大の拠点となった地であり、古代から続く往来の歴史の中で、街道沿いには港、城下町、宿場町が栄え、また往来によりもたらされた祭礼、芸能、仏教文化が街道沿いから農漁村にまで広く伝播し、独自の発展を遂げた。

近年「鯖街道」と呼ばれるこの街道群沿いには、往時の賑わいを伝える町並みとともに、豊かな自然や、受け継がれてきた食や祭礼など様々な文化が今も息づいている。

#### ■主な構成文化財

- ◆ 鯖街道（若狭街道）（小浜市・若狭町）
- 【国】小浜西組（小浜市）
- 【国】熊川宿（若狭町）
- ◆ 小浜の祇園祭礼群 放生祭（小浜市）
- ◆ 瓜割の滝（若狭町）

#### ■問い合わせ先

小浜市・若狭町日本遺産活用推進協議会（小浜市文化課内）  
福井県小浜市大手町 6-3  
TEL:0770-64-6034 FAX:0770-52-3223  
E-mail: rekishi@city.obama.fukui.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



分類：地域／認定ストーリー 6

#### ■タイトル

「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜

#### ■所在自治体 岐阜市

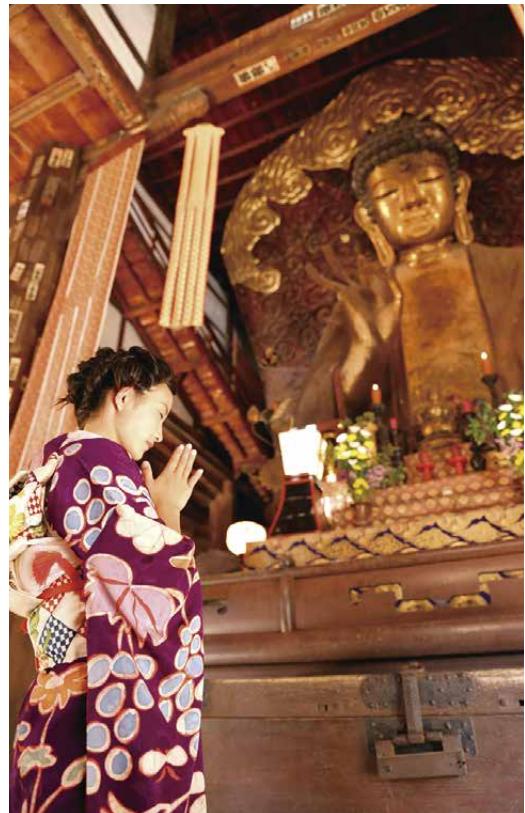
#### ■ストーリーの概要

戦国時代、岐阜城を拠点に天下統一を目指した織田信長。彼は戦いを進める一方、城内に「地上の楽園」と称される宮殿を建設、軍事施設である城に「魅せる」という独創性を加え、城下ー帯を最高のおもてなし空間としてまとめあげる。

自然景観を活かした城内外の眺望や長良川での鵜飼観覧による接待。冷徹なイメージを覆すような信長のおもてなしは、宣教師ルイス・フロイスら世界の賓客をも魅了した。信長が形作った城・町・川文化は城としての役割を終えた後も受け継がれ、現在の岐阜の町に息づいている。

#### ■主な構成文化財

- 【国】岐阜城跡
- 【国】長良川の鵜飼漁の技術
- 【国】長良川中流域における岐阜の文化的景観
- 【国】正法寺（岐阜大仏）
- ◆ 船上の遊宴文化



正法寺(岐阜大仏)

構成文化財など  
詳しくはこちら



#### ■問い合わせ先

日本遺産「信長公のおもてなし」岐阜市推進協議会  
岐阜県岐阜市神田町 1-11  
TEL: 058-214-2365 FAX: 058-265-4333  
E-mail: ky-shakai@city.gifu.gifu.jp

【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

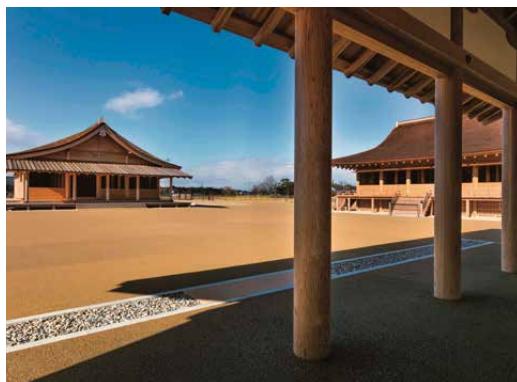
平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定



斎王の森



斎宮跡

分類：地域／認定ストーリー 7

■タイトル  
祈る皇女斎王のみややこ斎宮

■所在自治体 明和町

■ストーリーの概要

古代から中世にわたり、天皇に代わって伊勢神宮の天照大神に仕えた「斎王」は、皇女として生まれながら、都から離れた伊勢の地で、人と神との架け橋として、国の平安と繁栄を願い、神への祈りを捧げる日々を送った。

斎王の宮殿である斎宮は、伊勢神宮領の入口に位置し、都さながらの雅な暮らしが営まれていたと言われている。地元の人々によって神聖な土地として守り続けられてきた斎宮跡一帯は、日本で斎宮が存在した唯一の場所として、皇女の祈りの精神を今日に伝えている。

■主な構成文化財

【国】斎宮跡

- ◆ 斎王の森
- ◆ 祔川
- ◆ 竹神社
- ◆ 斎王尾野湊御禊場跡

■問い合わせ先

明和町日本遺産活用推進協議会  
三重県多気郡明和町大字馬之上 945 番地  
TEL: 0596-52-7126 FAX: 0596-52-7133  
E-mail : saikuuato@town.mie-meiwalg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

分類：シリアル／認定ストーリー 8  
■タイトル  
琵琶湖とその水辺景観—祈りと暮らしの水遺産

■所在自治体 滋賀県(大津市、彦根市、近江八幡市、高島市、東近江市、米原市、長浜市、草津市、守山市、野洲市)

■ストーリーの概要

穢れを除き、病を癒すものとして祀られてきた水。仏教の普及とともに東方にあっては、瑠璃色に輝く「水の浄土」の教主・薬師如来が広く信仰されてきた。琵琶湖では、「水の浄土」を臨んで多くの寺社が建立され、今日多くの人々を惹きつけている。また、暮らしには、山から水を引いた古式水道や湧き水を使いながら汚さないルールが伝わっている。湖辺の集落や湖中の島では、米と魚を活用した鮒ずしなどの独自の食文化やエリなどの漁法が育まれた。多くの生き物を育む水郷や水辺の景観は、芸術や庭園に取り上げられてきたが、近年では、水と人の営みが調和した文化的景観として、多くの現代人をひきつけている。ここには、日本人の高度な「水の文化」の歴史が集積されている。

■主な構成文化財

- 【国】比叡山延暦寺(大津市)
- 【国】竹生島(長浜市)
- 【国】白鬚神社(高島市)
- 【国】永源寺と奥永源寺の山村景観(東近江市)

構成文化財など  
詳しくはこちら



■問い合わせ先

日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会  
滋賀県大津市打出浜2番1号「コラボしが2」6階  
TEL: 077-511-1530 FAX: 077-526-4393  
E-mail : kokunai @biwako-visitors.jp

【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



近江八幡の水郷



近江のケンケツ祭り・長刀振りの鮒ずし切りの神事



永谷宗円生家(宇治田原町)



山なり茶園(和束町石寺)

分類：シリアル／認定ストーリー 9

■タイトル

日本茶800年の歴史散歩

■所在自治体 京都府(宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村)

■ストーリーの概要

お茶が中国から日本に伝えられて以降、京都・山城は、お茶の生産技術を向上させ、茶の湯に使用される「抹茶」、今日広く飲まれている「煎茶」、高級茶として世界的に広く知られる「玉露」を生み出した。この地域は、約800年間にわたり最高級の多種多様なお茶を作り続け、日本の特徴的な文化である茶道など、我が国の喫茶文化の展開を生産、製茶面からリードし、発展をとげてきた歴史と、その発展段階毎の景観を残しつつ今に伝える独特で美しい茶畠、茶問屋、茶まつりなどの代表例が優良な状態で揃って残っている唯一の場所である。

■主な構成文化財

【国】宇治上神社(宇治市)

【国】海住山寺(木津川市)

◆ 流れ橋と両岸上津屋・浜台の「浜茶」(八幡市・久御山町・城陽市)

◆ 童仙房・高尾・田山・今山の茶畠(南山城村)

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



■問い合わせ先

お茶の京都DMO(一般社団法人京都山城地域振興社)

京都府宇治市宇治乙方7-8京阪宇治ビル2F

TEL:0774-25-3239 FAX:0774-25-3238

E-mail: dmo@ochanokyoto.jp

【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

■タイトル  
丹波篠山デカンショ節

—民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶—

分類：地域／認定ストーリー 10

■所在自治体 丹波篠山市

■ストーリーの概要

かつて城下町として栄えた丹波篠山の地は、江戸時代の民謡を起源とするデカンショ節によって、地域のその時代ごとの風土や人情、名所、名産品が歌い継がれている。地元の人々はこぞってこれを愛唱し、民謡の世界そのままにふるさとの景色を守り伝え、地域への愛着を育んできた。その流れは、今日においても、新たな歌詞を生み出し新たな丹波篠山を更に後世に歌い継ぐ取組として脈々と生き続けており、今や300番にも上る「デカンショ節」を通じ、丹波篠山の町並みや伝統をそこかしこで体験できる世界が展開している。

■主な構成文化財

◆ デカンショ節

【国】篠山城跡

【国】篠山城下町

【国】丹波篠山市福住伝統的建造物群保存地区

【国】丹波立杭窯・丹波立杭登窯



丹波篠山デカンショ祭



波々伯部神社祭礼

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



■問い合わせ先

丹波篠山市農都創造部商工観光課

兵庫県丹波篠山市北新町41

TEL: 079-552-6907 FAX: 079-552-2090

E-mail: kanko\_div@city.sasayama.hyogo.jp

【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定



日本国創成のとき-飛鳥を翔(かけ)た女性たち- イラスト



持続天皇行幸再現

分類：シリアル／認定ストーリー 11

■タイトル

日本国創成のとき  
～飛鳥を翔(かけ)た女性たち～

■所在自治体 明日香村・檜原市・高取町

■ストーリーの概要

日本が「国家」として歩み始めた飛鳥時代。この日本の黎明期を牽引したのは女性であった。この時代の天皇の半数は女帝であり、彼女たちの手によって、新たな都の造営、外交、大宝律令を始めとする法制度が整備された。

また、文化面では、女流歌人が感性豊かな万葉歌を高らかに詠い上げ、宗教面では、尼僧が仏教の教えを広め、発展させるなど、政治・文化・宗教の各方面で女性が我が国の新しい“かたち”を産み出し、成熟させていった。

日本国創成の地である飛鳥は、日本史上、女性が最も力強く活躍した場所であり、その痕跡が色濃く残る地である。

■主な構成文化財

【国】高松塚古墳壁画(明日香村)

【国】藤原宮跡(檜原市)

◆ 町指定文化財 高取城跡猿石(高取町)

【国】飛鳥寺跡(明日香村)

【国】飛鳥宮跡(伝飛鳥板蓋宮跡)(明日香村)

構成文化財など  
詳しくはこちら



■問い合わせ先

日本遺産「飛鳥」魅力発信事業推進協議会

奈良県高市郡明日香村大字川原91-3

TEL: 0744-54-5600 FAX: 0744-54-5602

E-mail: bunkazai@tobutori-asuka.jp

【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定

分類：地域／認定ストーリー 12

■タイトル

六根清浄と六感治癒の地  
～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～

■所在自治体 三朝町

■ストーリーの概要

『三徳山』は、山岳修験の場としての急峻な地形と神仏習合の特異の意匠・構造を持つ建築とが織りなす独特の景観を有しており、その人を寄せ付けない厳かさは1,000年にわたって畏怖の念を持って守られ続けている。

参拝の前に心身を清める場所として三徳山参詣の拠点を担った『三朝温泉』は、三徳山参詣の折に白狼により示されたとの伝説が残り、温泉発見から900年を経て、なお、三徳山信仰と深くつながっている。今日、三徳山参詣は、断崖絶壁での参拝により「六根(目、耳、鼻、舌、身、意)」を清め、湯治により「六感(観、聴、香、味、触、心)」を癒すという、ユニークな世界を具現化している。

■主な構成文化財

【国】三仏寺奥院(投入堂)

◆ 三朝温泉

【国】三朝のジンショ

◆ 三徳山火渡り神事

◆ 精進料理と三徳豆腐

■問い合わせ先

日本遺産三徳山三朝温泉を守る会

鳥取県東伯郡三朝町大瀬999番地2

TEL: 0858-43-3518 FAX: 0858-43-0647

E-mail: kyouiku@town.misasa.tottori.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



三仏寺奥院(投入堂)



三朝温泉

平成  
27年度  
認定

平成  
28年度  
認定

平成  
29年度  
認定

平成  
30年度  
認定

令和  
元年度  
認定



津和野百景図 第17図 祀園會鷺舞



分類：地域／認定ストーリー 13

■タイトル

津和野今昔 ～百景図を歩く～

■所在自治体 津和野町

■ストーリーの概要

幕末の津和野藩の風景などを記録した「津和野百景図」には、藩内の名所、自然、伝統芸能、風俗、人情などの絵画と解説が100枚描かれている。明治以降、不断の努力によって町民は多くの開発から街を守るとともに、新しい時代の風潮に流されることなく古き良き伝統を継承してきた。百景図に描かれた当時の様子と現在の様子を対比させつつ往時の息吹が体験できる稀有な城下町である。

■主な構成文化財

【国】津和野城

【国】弥栄神社の鷺舞神事

◆ 高津川の鮎

◆ 鶯原八幡宮の流鏑馬

【国】山陰道（徳城峠越）

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



■問い合わせ先

津和野町日本遺産センター

島根県鹿足郡津和野町後田口 253

TEL: 0856-72-1901 FAX: 0856-72-1902

E-mail: kankou@town.tsuwano.lg.jp

【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



西国寺



天寧寺塔婆越しに見る尾道水道

構成文化財など  
詳しくはこちら ↓



■タイトル

尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市

分類：地域／認定ストーリー 14

■所在自治体 尾道市

■ストーリーの概要

尾道三山と対岸の島に囲まれた尾道は、町の中心を通る「海の川」とも言うべき尾道水道の恵みによって、中世の開港以来、瀬戸内随一の良港として繁栄し、人・もの・財が集積した。その結果、尾道三山と尾道水道の間の限られた生活空間に多くの寺社や庭園、住宅が造られ、それらを結ぶ入り組んだ路地・坂道とともに中世から近代の趣を今に残す箱庭的都市が生み出された。迷路に迷い込んだかのような路地や、坂道を抜けた先に突如として広がる風景は、限られた空間ながら実に様々な顔を見せ、今も昔も多くの人を惹きつけてやまない。

■主な構成文化財

【国】天寧寺塔婆

【国】浄土寺本堂及び境内地、多宝塔等

【国】みはらし亭

◆ 坂道と路地の景観

◆ 住吉祭

■問い合わせ先

尾道市歴史文化まちづくり推進協議会

広島県尾道市 久保一丁目15番1号

TEL: 0848-20-7425 FAX: 0848-37-2740

E-mail: bunkazai@city.onomichi.hiroshima.jp

【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



第60番札所横峰寺からの石鎚山の眺望



第88番札所大窪寺への参拝の風景

分類：シリアル／認定ストーリー 15

## ■タイトル

「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

## ■所在地

徳島県（徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、阿波市、三好市、勝浦町、神山町、牟岐町、美波町、海陽町、板野町、上板町）、高知県（高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、芸西村、中土佐町、四万十町、大月町、三原村、黒潮町）、愛媛県（松山市、今治市、宇和島市、新居浜市、西条市、大洲市、四国中央市、西予市、久万高原町、砥部町、内子町、愛南町）、香川県（高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、宇多津町、多度津町）

## ■ストーリーの概要

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1,400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1,200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

## ■主な構成文化財

【国】第21番札所 太龍寺（徳島県）【国】第31番札所 竹林寺（高知県）

【国】第43番札所 明石寺（愛媛県）【国】第75番札所 善通寺（香川県）

構成文化財など  
詳しくはこちら

## ■問い合わせ先

四国遍路日本遺産協議会

高知県高知市丸ノ内1丁目2番20号

TEL: 088-823-9332 FAX: 088-823-9267

E-mail: III601@ken.pref.kochi.lg.jp



【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む

## ■タイトル

古代日本の「西の都」  
～東アジアとの交流拠点～

分類：地域／認定ストーリー 16

## ■所在自治体 福岡県（筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、那珂川市、宇美町）、基山町（佐賀県）

## ■ストーリーの概要

太宰府政府を中心としたこの地域は、東アジアからの文化、宗教、政治、人などが流入・集積するのみならず、古代日本にとって東アジアとの外交、軍事の拠点でもあり、軍事施設や都市機能を建設するのに地の利を活かした理想の場所であった。現在においても太宰府跡とその周辺景観は当時の面影を残し、宗教施設、迎賓施設、直線的な道や碁盤目の地割跡は、1,300年前の古代国際都市

「西の都」を現代において体感できる場所である。

## ■主な構成文化財

【国】太宰府政庁跡

【国】観世音寺・戒壇院

【国】水城跡

【国】大野城跡

【国】太宰府天満宮

## ■問い合わせ先

太宰府市日本遺産活性化協議会

福岡県太宰府市観世音寺1-1-1

TEL: 092-921-2121 (内475) FAX: 092-921-3667

E-mail: bunkazai@city.dazaifu.lg.jp

構成文化財など  
詳しくはこちら

【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



観世音寺仏像



原の辻遺跡ー夕景(壱岐)

金石城跡(対馬)



辞本漚の碑(五島)

山王山(新上五島)

分類：シリアル／認定ストーリー 17

## ■タイトル

国境の島 壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋～

## ■所在自治体 長崎県(壱岐市、対馬市、五島市、新上五島町)

## ■ストーリーの概要

日本本土と大陸の中間に位置することから、長崎県の島は、古代よりこれらを結ぶ海上交通の要衝であり、交易・交流の拠点であった。特に朝鮮との関わりは深く、壱岐は弥生時代、海上交易で王都を築き、対馬は中世以降、朝鮮との貿易と外交実務を独占し、中継貿易の拠点や迎賓地として栄えた。その後、中継地の役割は希薄になったが、古代住居跡や城跡、庭園等は当時の興隆を物語り、焼酎や麺類等の特産品、民俗行事等にも交流の痕跡が窺える。国境の島ならではの融和と衝突を繰り返しながらも、連綿と交流が続くこれらの島は、国と国、民と民の深い絆が感じられる稀有な地域である。

## ■主な構成文化財

【国】金田城跡(対馬市)

【国】原の辻遺跡(壱岐市)

【国】三井楽(みみらぐのしま)(五島市)

◆ 日島の石塔群(新上五島町)

構成文化財など  
詳しくはこちら

## ■問い合わせ先

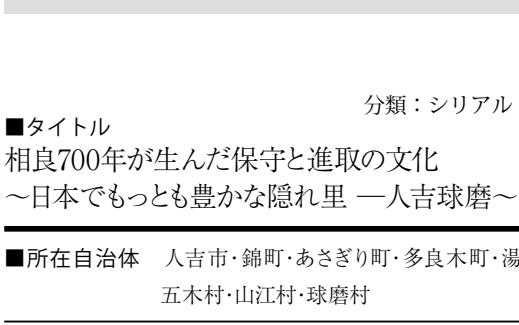
日本遺産「国境の島」推進協議会

長崎県長崎市尾上町3-1

TEL:095-895-2762 FAX: 095-829-2336

E-mail: s38010@pref.nagasaki.lg.jp

【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



分類：シリアル／認定ストーリー 18

## ■タイトル

相良700年が生んだ保守と進取の文化  
～日本でもっとも豊かな隠れ里 一人吉球磨～

## ■所在自治体 人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村

## ■ストーリーの概要

人吉球磨の領主相良氏は、急峻な九州山地に囲まれた地の利を生かして外敵の侵入を拒み、日本史上稀な「相良700年」と称される長きにわたる統治を行った。その中で領主から民衆までが一体となったまちづくりの精神が形成され、社寺や仏像群、神楽等をともに信仰し、楽しみ、守る文化が育まれた。同時に進取の精神をもつてしたたかに外来の文化を吸収し、独自の食文化や遊戯、交通網が整えられた。保守と進取、双方の精神から昇華された文化の証が集中して現存している地域は他になく、日本文化の縮図を今に見ることができる地域であり、司馬遼太郎はこの地を「日本でもっとも豊かな隠れ里」と記している。

## ■主な構成文化財

【国】人吉城跡(熊本県人吉市)

◆ タイド捨流剣法(熊本県球磨郡錦町)

◆ 球磨焼酎(熊本県人吉市・球磨郡)

構成文化財など  
詳しくはこちら

## ■問い合わせ先

人吉球磨日本遺産活用協議会

熊本県人吉市麓町16番地

TEL: 0966-22-2324 FAX: 0966-22-2134

E-mail: rekishibunka@hitoyoshi.kumamoto.jp

【国】…国指定等文化財もしくは国指定等文化財を含む



白太鼓踊り



国宝青井阿蘇神社